

博多港アイランドシティ地区国際海上コンテナターミナル整備事業
費用便益の概要

便益

項目	区分	単位当りの便益			便益(代表年)	
			単位	備考		単位
利用者便益	輸送コストの削減 (ダイレクト輸送化)	64	千円／TEU	ダイレクト輸送化による輸送コスト削減	13.7	億円/年
	輸送コストの削減 (横持ち輸送の回避)	7	千円／TEU	二次輸送の解消による陸上輸送コスト削減	11.5	億円/年
	輸送コストの削減 (代替港への輸送回避)	30	千円／TEU	代替港への輸送回避による陸上輸送コスト削減	83.9	億円/年
	滞船コスト削減	15,919	千円／隻・年	利用船舶の沖待ち解消によるコスト削減	10.3	億円/年
	走行時間費用削減	134	千円／台・年	効率的な道路網の構築により輸送時間の削減	27.3	億円/年
	走行経費削減	18	千円／台・年	効率的な道路網の構築により輸送費用の削減	3.6	億円/年
	交通事故損失削減	8	千円／台・年	効率的な道路網の構築により事故損失額の削減	1.6	億円/年
耐震便益	震災時の幹線物資輸送コストの増大回避	1,868	円／TEU	耐震強化岸壁の整備による輸送コスト増大回避	10.0	億円/年

* 便益の算出にあたっては、「港湾整備事業の費用対効果分析マニュアル(平成29年3月)」を参照

費用

費用項目	建設費、再投資費等、管理運営費 等
事業の対象施設	岸壁(水深15m)(耐震)、泊地(水深15m)、航路(水深15m)、臨港道路、ふ頭用地、荷役機械